

土井弘介

奇跡の出会い NYC

「Miracle encounter in NYC」

カメラと仲良しだったから

1971年5月、36歳の私はカメラを肩に当時の外貨持ち出し制限額\$500と数枚の万札をポケットに初めての海外旅行にカナダを選んで飛び出した無計画無目標案の定途中でほぼ文無しの危機を迎えるが2ヶ月後全く行く気などなかったNYC漂着していた、一人だけ知人がいたというだけが頼りだった、運良く居場所も仕事にもありついて暮らし始めて数年後写真家アービングペンの助手をしているキースからヘルムートニュートンがロケに連れて行く短期助手を探しているらしいから会って見ないかとの情報をもらい英語も殆どできないまま面接を受けた所翌日電話があり採用との知らせ、写真関連の仕事をして居たおかげで仕事にありついたらもちろん有名な彼の名前はよく知っていた。

仕事はプレイボーイ社の発行する男性誌「OUI」のファッションページの水着撮影でカリブの島ハイチに一週間黒人のモデル3名とADの6人の旅だった。撮影は2日間で終了後は自由というバカンスのような楽しさだった。



Photo by Helmut Newton

これが巨匠ニュートン氏が撮影した写真でなんと私もモデルに駆り出されて雑誌のページを飾ることとなる。

そして写真手前の左にいるモデルの一人との出会いがその後の私に奇跡のような出会いをもたらしてくれる。

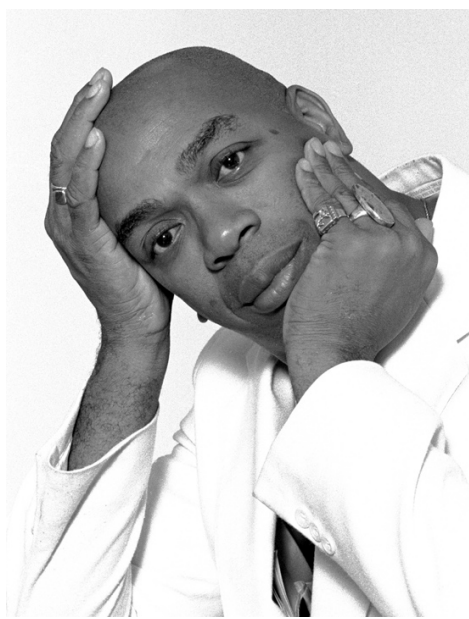
Geoffrey Holder という 2m4cm の大男は舞踏家、画家、振付師等々マルチな才能を持つ有名人で映画 007 でロジャームーアと共演もしている俳優でもあったのだ、なぜかお互いに気が合いその後彼が亡くなるまで交友が継続した、本当に良くしてくれた図体と同じように心も気持ちも大きい人だった、あちこち連れ回され思いもかけぬセレブたちにも紹介してくれ彼らの写真を撮る機会を得ることが出来たのだ、その一部の写真をご覧に入れよう。

ジェフリー ホルダー Geoffrey Holder

ハイチで`の仕事か`縁で`知り合ったこの人とは彼が`亡くなるまで`の40年間まるで`弟か息子の様に良くしてくれる`という、素晴らしい出会いがあったので`す。全く未知の人だ`った彼、後に判って来たのはカリブ`の島トリニダ`ート`生まれ英`仏で`教育を受けた高学歴、メトロポ`リタンオペ`ラの主要タ`ンサー、声優、演出家、画家、テ`サ`イナー、映画俳優としてもジ`ェームスボ`ント`「007死ぬのは奴らだ`」で`ロジ`ャーム

ーアと共演していると言うマルチタレント、低音で素晴らしい声はアカデミー賞の舞台で特別ゲストシンガーとしてデビュースニー映画の主題歌を歌っていました。以下 GH と呼ぶこととする、

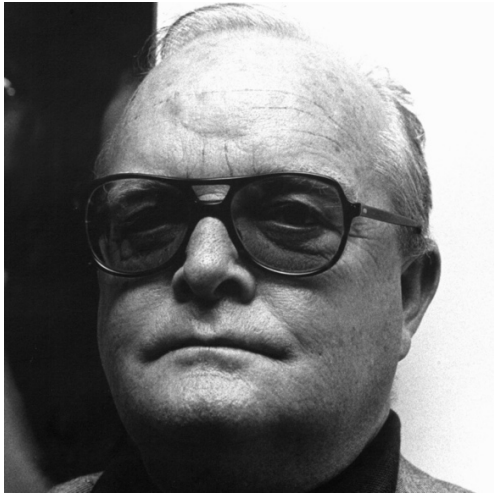
彼が機会あるごとにあちこち引き回してくれたお陰でとても一介の風来坊が入り込めない Manhattan の有名人たちの素顔を垣間見る機会に恵まれその姿を写真に残せたのです、幸運だったと言うほかはありません、2014年10月5日天国に行ってしまいました、合掌。



トルーマンカポーティ Truman Capote

ボビー ショートと言う歌手のライブがマディソン街76丁目のホテルカーライルのクラブで始まるとのこと、その前夜祭の取材に出かけた、少しは顔見知りの方が来ているようだが華やかさには欠けるパーティかなと思っていると急にざわつき始めた視線を移すと見覚えのある小柄な男性の周りに人が集まっている「トルーマンカポーティ」だ、暫く経って人垣が崩れたので思い切り近寄ってパチリ、目でサンキューと伝えると”you got me”と言ってにやりと笑ってくれました。話し声はなにか変、フガフガとした頼り無さそうな声色ただだったと記憶している。十九歳のとき処女作「ミリアム」でオーヘンリ賞を獲得、その後「ティファニーで朝食」とか「冷血」とベストセラー作家としての地位を確立、NYの社交界でも華やかな日々を送っていたが晩年は小説

「冷血」に絡まる取材元との確執に追いまわされそのあげく薬と酒に溺れて60歳の若さで惨めな最期を遂げてしまった。



「ジミー フー？」 President Jimmy carter

西 57 丁目に人だかり、何かと覗いてみると一人の紳士が周りに手をふっている、集まっている人に聞いてわかったのは、後に大統領になるジミー カーターさんだ。当時は知る人も少なく「ジミーって誰？」と新聞にも書かれていた。彼の後ろのビルには有名出版社ハーストのオフィスがあるので挨拶に立ち寄られたらしい。

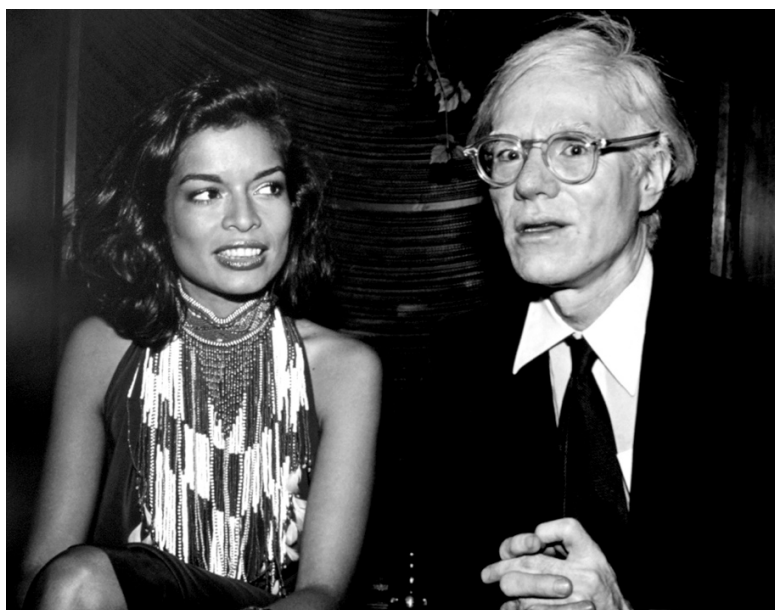
小型のローライ 35 で 4~5 枚パチリ、実はこの二日後近くの学校で選挙演説があると聞いていたのだが当日つい忘れていて気がつく手遅れ、さらにその後 NYC 市役所からカーターさんのパーティ取材の依頼があったにも関わらず先約がありキャンセルの羽目に大統領の良い写真が残っていただろうにと本当

に残念、運がなかったということだ。



「アンディ ウォーホール」 Andy Warhol

雑誌の取材や遊びに出かけたディスコ、ギャラリーの個展のパーティ、ファッションショーでも度々出会う機会が多かった、独特のオーラ(妖気)を漂わせながら取り巻き連中と一緒にの時間が多かった、いつも厚かましくそばに接近して撮影しているので彼も私のことを知っていてくれていたので彼のスタジオを訪ねていたらお近づきになることが出来たかも？、写真はミッドタウンのレストランでミックジャガーの前妻ビアンカと談笑中をパチリ。



マーガレットミード Margaret Mead 文化人類学者

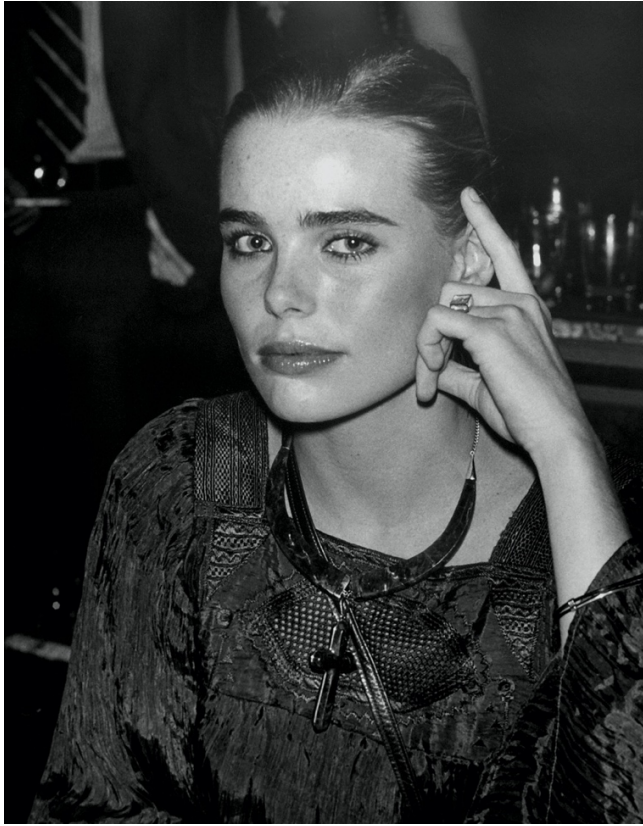
以前コココーラのPR誌の取材でご縁のあった数学者広中平祐さんの奥様和歌子さん(後に参議院議員)からの依頼でミード博士のインタビューの撮影に自然博物館の一室にある博士のお部屋に」出向く、しかし彼女がどのようなお方なのかは全く知識なし、後に聞いたところ世界的に名高い文化人類学の権威とのこと部屋は本が溢れ足の踏み場もないような状況、「大白蓮華」という創価学会系の雑誌のための取材、日本向けの仕事となるとやはり嬉しい気がする。



「マーゴ ヘミングウェイ」 Margaux Hemingway

ロカフェラーセンターのクラブでトニーマーチンという結構売れていた歌手のライブがあり出かけてみた、さすがはベテラン、甘いバラードを聴かせてくれたのでうっとり聞いていたが客席を見渡すと美女を発見、何処かで見た顔、あっ思い出した、映画「リップスティック」に出ていた女優マーゴだ、文豪ヘミングウェイの孫でモデル出身結構もてもてだった確かにこの頃の彼女はキラキラ輝いていた。

カメラを構えてじっと数分間チャンスを狙っているとやっと視線が来たのですかさずパチリ、ちょっと不機嫌そうだったがそこがまた良い感じだ、それから何年か後に雑誌にスクープされた彼女はどうかブクブク状態で撮影時期の面影は消えてしまっていた、暫くしてから薬物中毒での死亡記事が新聞に掲載されていた、祖父の名声を背負いきれなかったのかも知れない。彼女が一番輝いて頃の姿を残せたことがせめてもの慰めと言う事だ。



「マドンナ」 Madonna 1982/5/24

大ヒットしたミュージカル「コーラスライン」で監督ザック役を十年やっている仲の良い友達が連絡があり誕生パーティーをウエストサイドマリーナに浮かべてある彼のハウスボートで開くから何か作ってくれと頼んで来た、素人ながら料理は好きだから美味しいものでも作ってあげようと思いヒレ肉の固まりを買ってきて中にミリンで溶かした味噌を塗り込んで和風ローストビーフを作り持って行った、大好評、10名ほどの小さなパーティだったが招かれた客の中に一見ヤンキーっぽいワイルドな風貌をした女がいたので貴女は何者かと聞くと

シンガーソングライターで名前はマドンナと言うのと答えてくれたが聞いた事のない名前だった、近寄ってカメラを向け撮っても良いかと聞くとOKと言って会話に夢中、十枚ほど撮影した、その後しばらくは撮影した事も忘れていたのだがそれから3ヶ月程経ってから「like a virgin」という曲が街中に流れ出した、マドンナだった、あの時の女かと友達に確かめるとそうだと返事、それからと言うものは売れるは売れるは、あっという間に大スター

アメリカント` リームカムトゥルー、ブレイク前の写真はそれほどはない筈

これは戴きだ、帰国後暫くして彼女の来日を知り即「フォーカス」誌に売り込みに成功、センターページ二面に掲載された。

今もその時の事を話したら彼女はきっと覚えているだろうなと思っている。



「ジョアン ジルベルト」 Joao Gilberto

「仕事、仕事」と GH から電話が有った、

ジャズピアニスト ビル エバンスのレコードなどを手がけている辣腕の音楽プロデューサー ヘレン キーンが LP ジャケットの撮影をして欲しいと言ってきているから会いに行けとの事、早速面接「あなたの写真を色々見せてもらって気になっていたから頼むのだけどジョアン ジルベルトの事知ってる？」

「勿論です日本ではボサノバの神様と言われている人ですから」「彼写真は苦手だと言っているんだけど大丈夫かな?」「そんな人なら挑戦しがいがあるから是非やらせてほしい」面接無事終わり***。

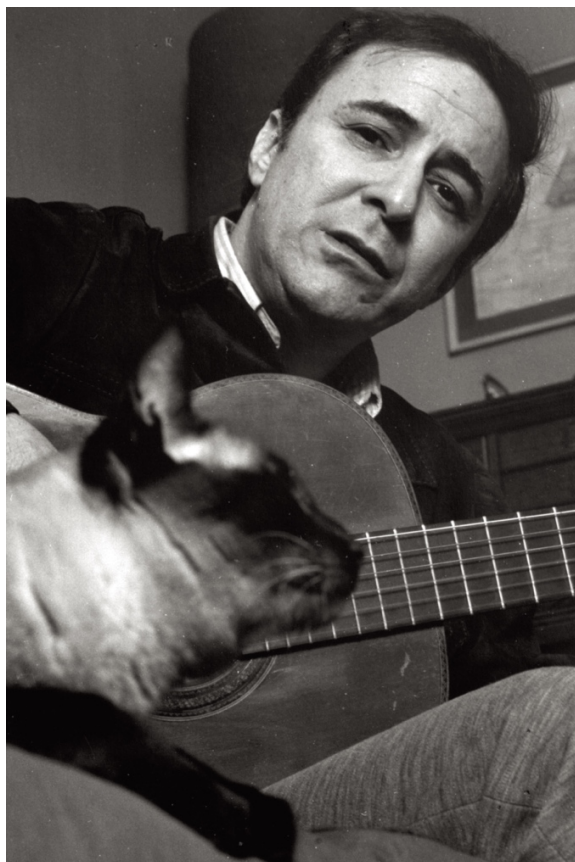
1974年1月24日、撮影場所 East96st ヘレンのアパートに時間前に行って待っているとジャンパー姿でギターを抱えて彼がやってきた、握手して眼が合った途端この人シャイなので無愛想を装っている人なのだなと直感、私も彼もたどたどしい英語、それに彼は饒舌とはとても思えないから間を持たすための窮余のアプローチ『ギターをお持ちなのだから何か聞かせてくれませんか?』と言うとエッとと言う顔、しかし直ぐ笑みがこぼれ状況を把握、ボロンボロンと

ギターが鳴り出して「デ` サフィナーノ」という私も知っているナンバー、
神様が私だけのために1メートルの至近距離で演奏してくれている、

鳥肌ものだ、カメラのシャッター音がこのとき程邪魔だなと思った事は無かった、
歌の途中でヘレンの飼ってる猫がひょいっとジョアンの膝に飛び乗った
良い音楽って猫にも通じるのだ、ヘレンも普段は人見知りする猫の突然の行動
にびっくり、お陰で面白いショットをものに出来た、「猫とジョアンとボサ
ノバと」三題噺みたいだ、持っていったフィルムを使い切り撮影終了、

一緒にヘレン宅を辞し外に出ると雪が舞っていた、五番街からタクシーに乗
ると言うので一緒にパーク、マディソン、そして五番街迄3ブロックを一緒に
歩く、途中少し後ろにさがってギターを肩に雪の中を歩く彼の後ろ姿を見て
フィルムを使い切った事を後悔したのだ、これこそジャケットカバーだったの
に、残念と。

嬉しい事にこのアルバム「AMOROSO」は今なお売れ続けている彼のベスト
セラーだそうだ。



「リリアン ハッスマン」 Lillian Bassman

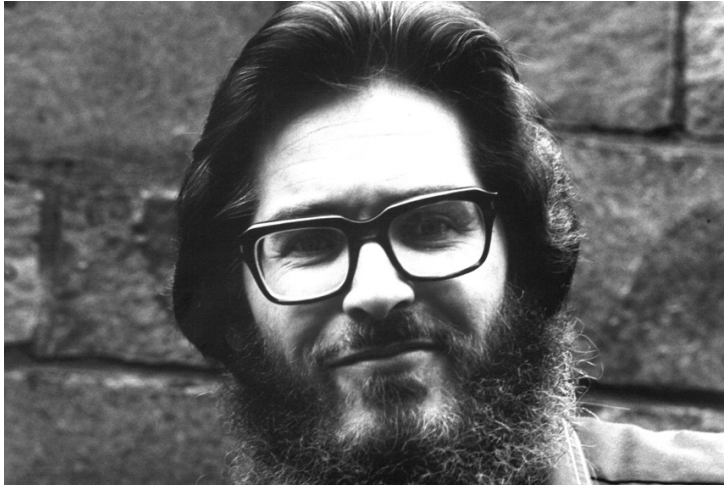
1940年から60年にかけて代表的なファッション雑誌ハーパースバザーの誌面をコンスタントに飾った彼女の写真は今や伝説となっている、元々編集者として働いていた彼女は写真家に転向、見る見るうちに才能を開花、アメリカが一番華やかでエレガントな時代でファッション業界のエリートとして脚光を浴び続けた写真家というのも当時ファッション写真を撮るのは男性ばかり、彼女の出現により始めて女性の目線でファッションをとらえた写真が出現したと言う事らしい。

彼女が60歳を越えた頃、私の元に知人を通じて彼女を手伝う仕事が舞い込んできたのだ、彼女がそれほど大物写真家とはつゆ知らず、もともとNYに来ることも写真をこちらで学ぼうと言う気持ちも無く運命に引きずられてこの街に流れ着いたのだから下調べなど全くしていなかった、アメリカ人の写真家で名前を知っていたのはロバートキャパ、ロバートフランク、アービングペンそしてリチャートアベドンぐらだったから無理もない、とにかくパートタイムで3~4日手伝った後よければフルタイムで働かないかとの申し出を受けることになる、気持ちを若く保つ事に努力されて居る日々から生まれるオリジナルなアートは目を見張るものがあり、アルミ箔に映る花などは美しデフォルメされとても魅力的だったしある時はムキムキのマッコマンを題材にしたエロティックな写真にも挑戦しておられたがこの時期は既に一線はリタイヤされて本当に好きな仕事だけを選んでやっているということで一応毎日 East83st という高級住宅地の3階一戸建ての豪邸に通ったが給料をいただくのは申し訳ないというほど楽な日々でまるで家族のように親しくしていただいたのだった、帰国後も1996年と2006年に訪れてお会いしてきたがお元気でドイツヴォーグ誌のページを飾る写真を撮ったりと創作活動も継続中だった。



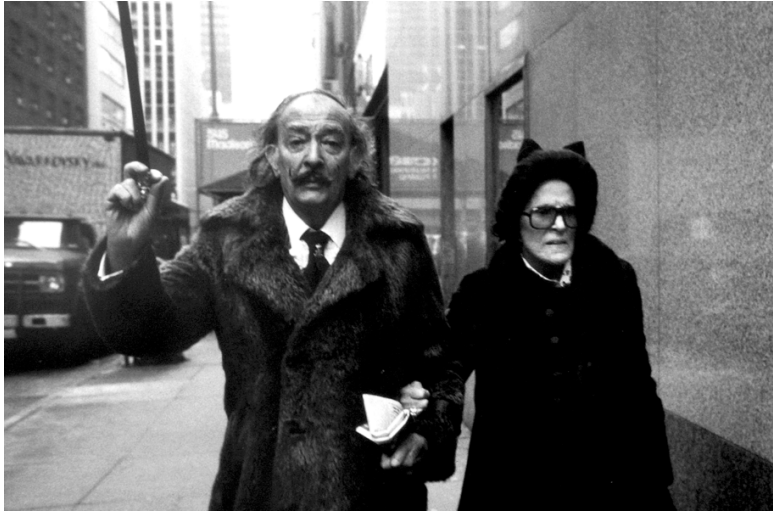
「ビル エバンス」 bill Evans

エール大学の劇場でビルと GH の奥様で著名なダンサーのカルメンとのコラボコンサートがあると言うので出かけた、ビルのトリオの音楽に合わせてカルメンがダンスを披露するというユニークな舞台でした、知識階級に多くのファンを持つビルですから会場は立ち見が出るほどの盛況ぶり、終了後駐車場でビルとぼったり、カルメンの友達だと挨拶して撮影依頼 7~8 枚スナップさせてもらった、いい素顔いただき。



「サルバドール ダリ」 Salvador Dali

「なあ今夜ダリと言う人と会うんやけど`写真撮ってくれへん?」と大阪出身同志というだけでこちらにきて知り合ったモデルのマイコから電話、まさかあのダリがと思ったが彼女は彼が何者かは知らなかった様子、とにかく大型ストロボを引っさげて五番街 53 丁目のセントレジ`スホテルに向かう、間も無く先入観通り異様なオーラを漂わせてあのダリ様が登場、マイコの横に座り彼女の手を取った撫でたりさすったりしている、それもその筈 彼女は今 NY で一番売れっ子のハンドモデルた、さあ撮影とシャッターを切るとストロボが発光しない、事前にテストを繰り返してきたのに、慌てる私をダリさん呆れ顔、仕方なくフィルムの感度を上げてホテルのうす暗い灯りだけを頼りに撮影開始、なんとかものにすることが出来た。これか縁だったのかその後街で`度々出会う事になる、ガラ夫人と一緒にの時や一人で散歩している時などあの失態があったお陰で私の印象は残って居たらしく、挨拶すると覚えて居てくれた、4~6 時中カメラを肩にして居たからその度ごとにすかさずスナップ時にはステッキをふり上げて挨拶してくれて目線をいただいたりと珍しいダリ様の素顔をものにすることが出来た、ナルシスト丸出しのポートレートは流出して居るか`このようなスナップは珍しいらしく帰国後雑誌美術手帖や NHK 日曜美術館のダリ特集で使ってもらえた。



*I was good friends with my camera.

In May 1971, at the age of 36, with a camera on my shoulder, a \$500 foreign currency limit at the time, and a few bills in my pocket, I took off on my first trip abroad, choosing Canada. A few years later, Keith, an assistant to photographer Irving Penn, asked me if I would be interested in meeting with Helmut Newton, who was looking for a short-term assistant to take him on location shoots. I got the job thanks to my background in photography, and of course I was familiar with his famous name.

The job was a one-week trip to the Caribbean island of Haiti for a swimsuit shoot for the fashion page of OUI, a men's magazine published by Playboy, with three black models and an AD.

The shoot lasted two days, and after the shoot we were free to go on our own, so it was like a fun vacation.

*This is the photo taken by the master photographer, Mr. H. Newton, and to my surprise, I was invited to be a model for the magazine's page.

And the encounter with one of the models on the left in the foreground of the photo brought me a miraculous encounter.

Geoffrey Holder, a large man of 2m4cm, was a famous dancer, painter, choreographer, and other multi-talented person, and also an actor who starred with Roger Moore in the movie 007. He was a man with a big heart and a big heart, and he took me all over the place and introduced me to unexpected celebrities and gave me the opportunity to take their pictures.

*Geoffrey Holder

I met Geoffrey Holder through my work in Haiti, and he was like a brother and son to me for 40 years until he passed away. He was a complete stranger to me, but I later learned that he was born in the Caribbean island of Trinidad, educated in England and France, highly educated, a major dancer in the Metropolitan Opera, a voice actor, director, painter, designer, film actor and multi-talented actor who also worked with Roger Moore in James Bond's "They Shall Die". He is a multi-talented actor, having performed with Roger Moore in James Bond's

"They Shall Die," and his bass voice was a special guest singer on the Academy Awards stage, singing the theme song to a Deezhny movie. We will call him GH.

Thanks to GH, I had the opportunity to see and photograph many of Manhattan's famous people, who are not accessible to the mere commoner.

*Truman Capote

I was there to cover the eve of a live performance by a singer named Bobby Short at the Hotel Carlyle club on Madison Avenue at 76th Street, and while I thought it was going to be a less than glamorous party with a few familiar faces, suddenly there was a buzz in the air. After a while, the crowd broke up, so I went up to him and snapped a picture, and when I said thank you with my eyes, he smiled and said "you got me". I remember that his voice sounded strange and his tone of voice sounded unreliable. After that, he established himself as a best-selling author with "Breakfast at Tiffany's" and "In Cold Blood," and was a glamorous socialite in New York City. He was also a member of the NYC Society and a member of the NY Times.

*Jimmy who? president jimmy carter

A crowd of people were gathered on West 57th Street. I looked over to see a gentleman waving his hands around. At the time, few people knew who Jimmy was, and the newspapers wrote, "Who is Jimmy? The newspapers asked. The building behind him was the office of the famous publishing house Hearst, so I heard that he stopped by to say hello.

I was told that two days later he was going to give a campaign speech at a nearby school, but I forgot about it and realized too late that it was too late. It was a real shame, because there would have been some good photos of the President left.

*Andy Warhol

I often had the opportunity to meet Andy Warhol for magazine interviews, at discos where I hung out, at gallery parties, and at fashion shows, often in the company of his cronies, exuding a unique aura of mystery. I always got very close to him and he knew me, so if I had visited his studio, I might have been able to get to know him better. This photo was taken while I was chatting with Bianca, Mick Jagger's ex-wife, at a restaurant in Midtown.

*Margaret Mead, Anthropologist

At the request of Ms. Wakako, wife of mathematician Heisuke Hironaka (later a member of the House of Councilors), with whom I had worked for a Coca-Cola PR magazine, I went to Dr. Mead's room at the Museum of Nature to film an interview with her. The room was full of books, and there was no room to step on the floor.

*Margaux Hemingway

I went to a club in Rockefeller Center to see a live performance by a successful singer named Tony Martin.

She was the grandson of Hemingway, a great writer and model, and was quite popular.

She looked a little unhappy, but it was a nice touch. Maybe she couldn't live up to her grandfather's fame.

It is a consolation, at least, that we were able to preserve her at her most glorious.

*Madonna 1982/5/24

A good friend of mine who played the role of Zack, the director of the hit musical "A Chorus Line" for ten years contacted me and asked me to cook something for his birthday party at his house boat on the West Side Marina. I bought a chunk of filet mignon and made Japanese style roast beef with miso paste melted in mirin and brought it to him.

I asked her who she was and she told me that she was a singer-songwriter and her name was Madonna, which I had never heard of before. I asked my friend if she was Madonna, and she said yes, and from then on, she sold more and more, and in no time at all, she became a big star!

After returning to Japan, I learned that she was coming to Japan and immediately made a successful pitch to "Focus" magazine, where she was featured on the center page of the magazine.

Even now, I am sure she would remember if I told her about that time.

*Joao Gilberto

Work, work," GH called.

Helen Keane, a hotshot music producer who has produced records for jazz pianist Bill Evans, told me to go see her because she wanted me to shoot an LP jacket for her. Do you know João Gilberto? I asked him if he knew João Gilberto. "Of course I do, he's called the god of bossa nova in Japan. I'm sure he's a bossa nova god in Japan.

On January 24, 1974, I arrived at Helen's apartment on East 96th Street, the location of the photo shoot, before the scheduled time and waited for her. I asked, "Since you have a guitar, would you mind playing something for us? He smiled and understood the situation, and the guitar started to play "Desafinano," a number that I also knew.

God was playing it for me alone at a distance of only one meter from the stage.

I had goosebumps, the sound of the camera shutter had never disturbed me so much as it did during the song, Helen's cat jumped on Joanne's lap. It was like a three-question story: "The cat, Joanne, and the bossa nova.

We left Helen's house together, and when we went outside, it was snowing. He said he was going to take a cab from Fifth Avenue, so we walked three blocks together to Park, Madison, and Fifth Avenue. It was a shame, because this was the cover of the album.

To his delight, the album "Amoroso" is still his best-selling album

*Lillian Bassman

Originally an editor, she became a photographer and quickly developed her talent. She was a photographer who was in the limelight as one of the elite of the fashion industry during the most glamorous and elegant era in the U.S. At that time, only men took fashion photos, and she was the first photographer to capture fashion from a woman's perspective.

I had no idea that she was such a big name photographer, and since I had no intention of coming to New York or studying photography here, fate had dragged me to this city and I had not done any preliminary research. I knew the names of American photographers such as Robert Capa, Robert Frank, Irving Penn, and Richard Avedon.

After helping him part-time for three or four days, I was offered a full-time job if I wanted. At one point, he tried his hand at erotic photographs of muscular macho men, but he had already retired and was only doing the work he really loved, so he went to a third-floor mansion on East 83rd Street in an upscale neighborhood every day. I visited him in 1996 and 2006, and he was still in good health and continuing his creative activities, such as taking photographs for the pages of German Vogue magazine.

*Bill Evans

I went to the Yale University Theater for a collaboration concert between Bill Evans and his wife, Carmen, a famous dancer and wife of GH. It was a unique performance in which Carmen danced to the music of Bill's trio. After the performance, I bumped into Bill in the parking lot. I greeted him as a friend of Carmen's and asked him to take 7 to 8 pictures of me.

*Salvador Dali

I was asked, "Hey, I'm meeting a guy named Dali tonight, can you take his picture?" I was surprised to hear that it was Dali, but she didn't seem to know who he was. I had tested the strobe many times before, but the strobe didn't fire. I had no choice but to increase the sensitivity of the film and start shooting, relying only on the dim lights of the hotel. I was with Mrs. Gala and walking alone, and thanks to that blunder, he seemed to have left an impression on me, and remembered me when I said hello. I was able to get a rare glimpse of Dali's true face. Narcissistic portraits have been leaked, but this kind of snapshot is rare, and after returning to Japan, I was featured in Bijutsu Techo magazine and NHK Sunday Museum of Art's Dali special.